

## 令和7年度国スポ北信地区予選 諸連絡

### 1 競技上のルールについて

#### (1) 現行の日本卓球ルールで行う。

- ① サービスは相手に明らかに見えるようにする。
- ② ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーハンドと腕を、ボールとサポートとの間の空間の外に出さなければならない。
- ③ サービスはほぼ垂直に16cm以上投げ上げる。
- ④ ラバーのはみ出し、破損等。
- ⑤ ゲーム間のアドバイスは1分以内とする。
- ⑥ 5秒ルールの徹底

#### (2) ゼッケンについて

今大会は昨年度の日本卓球協会のゼッケンの着用も認める。ただし、次回以降の大会には今年度のゼッケンを着用すること。

#### (3) 身だしなみについて

高体連のルールにある通り、頭髮の染色・脱色・パーマ等や、装飾のピアス・ネックレス・指輪等はすぐわないものとして、その対象生徒の大会出場を制限する。

#### (4) 使用球について

ニッタク・VICTAS・タマスで選手がコートでトスにより決定する。

※コートにはニッタクボールを準備。VICTAS およびタマスのボールは本部に置く。

#### (5) ベンチアドバイザーについて

予選リーグは無し、決勝トーナメント（1位・2位）から認める。

### 2 試合進行について

#### (1) タイムテーブルに従ってコートに入る。予選リーグの審判は、試合の空いている者が行い、決勝トーナメント1回戦は補助員校、2回戦以降は敗者審判制とする。

#### (2) 試合ごとの流れ

◆タイムテーブルにしたがってコートに入る。

※ただし、タイムテーブルの時間は目安であり、前の試合が終わり次第、コートに入ること。

※試合ごとにコールは行わないので、自分でコートを確認しておくこと。

◆試合後の動き（予選リーグ）

<1番の選手>

リーグの試合順に沿って、試合を進行する。試合が全て終わったら順位をつけて本部へ提出。

◆試合後の動き（決勝トーナメント）

<勝者>

対戦カードの確認を行い、間違いがなければコートを離れて良い

<敗者>

i 身支度を整える前に、本部に対戦カードを持って結果報告をする

II 本部横の審判控所で待機し、対戦カードを持ってコートに戻って審判をする